

科目区分	専門分野			科目番号		曜日時間	
授業科目	基礎看護技術V						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	1年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員	宮下 梨沙						
授業目的	対象の健康状態を判断するための生命活動を支えるヘルスアセスメント技術を学ぶ。						
中核	診療の補助技術						
授業目標	1. 情報収集・バイタルサイン測定の意義が理解できる。 2. バイタルサイン測定を正確に実施し、その値の意味が理解できる。 3. フィジカルアセスメントの基礎的技術を習得できる。 4. 看護記録・報告の留意点を理解し、方法が理解できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	備考		
	1	看護記録	講義	2	(必要時) 聴診器 白衣		
	2	ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメント		2			
	3	バイタルサイン (体温・意識)		2			
	4	バイタルサイン (脈拍・呼吸)		2			
	5	バイタルサイン (血圧)		4			
	6						
	7	バイタルサイン測定技術試験	演習 (必修)	4			
	8						
	9	身体計測、報告		2			
	10	フィジカルアセスメント (呼吸器・循環器)	講義	2			
	11	フィジカルアセスメント (消化器・筋-骨格系)		2			
	12	フィジカルアセスメント (乳房-腋窩・脳神経)		2			
	13	フィジカルイグザミネーション	演習 (必修)	4			
	14						
15	まとめ (症状・徴候からのアセスメント)	講義	2				
評価計画方法	バイタルサイン測定技術試験 40%、終了試験 (筆記) 55%、リフレクション 5%						
テキスト参考図書	茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔2〕基礎看護技術 I 第18版【電子版】，医学書院 看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント第1版 第1版，メディックメディア 山内豊明：フィジカルアセスメントガイドブック第2版，医学書院						
事前学習 事後学習	事前配布のワークシート、動画視聴、技術練習						
実務歴 有	看護師・保健師：病院勤務 14年 看護教員：学校勤務 2年						
講義への 反映	臨床場面から実際の看護技術の目的・意義を実感できる講義を展開する						
備考	事前学習および技術練習を計画的に行い、講義および演習に臨みましょう。						